

林業遺産 「再度山の植林と関連資料」

2020年5月27日に「再度山の植林と関連事資料」が、林業遺産として認定されました。

林業遺産とは、（一社）日本森林学会が2013年度から「林業遺産」選定事業を開始し、日本各地の林業の発展と歴史を将来にわたって記憶・記録していくため、林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、土地に結びついたものを中心に、技術や道具類、古文書等の資料を林業遺産と認定しています。

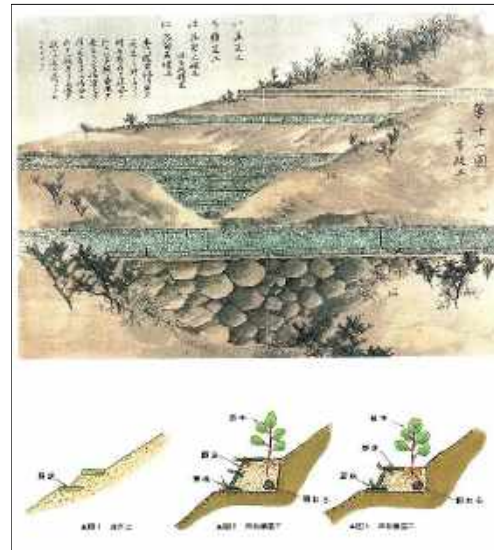
2018年までに吉野林業(奈良県)をはじめ、全国で35箇所が認定されており、県内では「猪名川上流域の里山」（川西市黒川）に引き続く2例目となります。



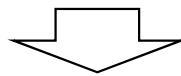
再度山の植林と森林の再生



明治35年～40年頃の植林



明治35年頃の植林工法



令和元年の再度山

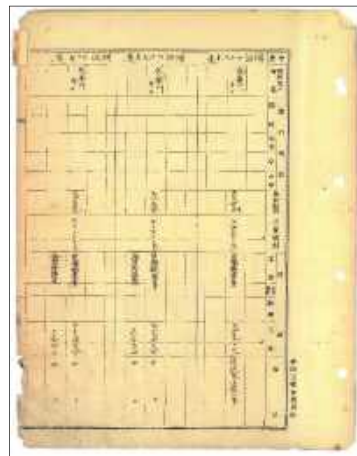


再度山内の石積み遺構

資料群(造林・工事台帳ほか)



造林台帳（神戸市）



砂防工事台帳（県砂防課）



再度山の植林写真